

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第15号

ふれあいかわら版

“自治会との交流を深める”
黒埼地区親善大運動会!!

去る6月20日(日)黒埼地区多目的広場で、第49回黒埼地区親善大運動会が開催されました。前日までは梅雨空で、広場での開催が心配されましたが、当日は雨も上がり、グランドコンディションも良好で、熱のこもった競技を展開しました。

板井自治会、準優勝で盛り上がる!

伝統を誇る親善大運動会は、黒埼地区住民が一堂に会し、「親睦と融和、体力の保持増進」および「スポーツ振興の黒埼」をテーマに健康で明るい地域づくりを目指す自治会対抗戦の地区運動会として第49回を数えております。来年度は第50回目の記念大運動会ということになります。

開会式で、谷井輝雄黒埼地区連合自治会長が、「西区16万人の人口の中で、2万6千人の黒埼地区はややもすると埋没しがちである。自治会交流を通じて黒埼地区の活力を高め、地域性を発揮したい。」旨の開会挨拶を行いました。

青木太郎県議会議員、永井武弘市議会議員らの来賓祝辞、来賓紹介、審判長注意、選手宣誓に続いて、大会役員・選手全員がグランド全体に広がって準備体操を行い、身体をほぐしてから競技を行いました。

午前には「集配便リレー」「女子年代別リレー」「男子年代別リレー」「女子玉入れ」「男子大豆拾いリレー」「男子400mリレー」「女子学童リレー」「男子学童リレー」



集配便リレーで競技開始

午後は「幼児レース」「小学生ジャンケンポンリレー」「女子大豆拾いリレー」「男子玉入れ」「熟年・孫ゲートリレー」「学童リレー(決勝)」「女子防災バケツリレー」「男子防災バケツリレー」「年代別リレー(決勝)」そして最終順位と優勝のゆくえを決める「各種団体リレー」で全ての競技を終えました。

出場選手は、焦りをはねのけて精一杯に健闘し、各自治会の得点に貢献していました。出場選手だけでなくテント内の応援席も“それ行け”“よっしゃ”という喜びの声、“あぁ〜”というため息の声が重なり合うなど、熱のこもった声援を繰り返していました。学童リレーなどは当の選手よりは親の心配顔が目をはいていました。



昼休み風景(板井自治会)

昼休み風景(木場自治会)

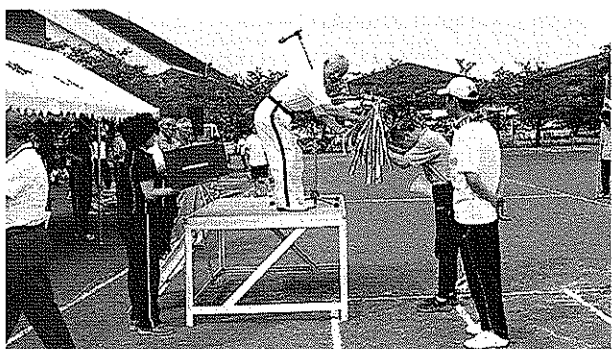


また、自治会や各自治会同士の多くの知人との談笑を通じて親善を深めるなど、心地よい一日を過ごすことができました。

成績は、次のとおりです。なお、同点の場合は、1位の多い方が上位です。

■総合成績

1位	鳥原本村	48点
2位	板井	48点
3位	大野町	47点
4位	小平方	46点
5位	山田	45点
6位	木場	43点
7位	中学通	43点
8位	金巻	40点



準優勝杯授与

木場連合自治会、リレーで健闘！

なお、学童リレー・年代別リレーは総合成績とは別に評価され、それぞれ1位～3位までが表彰されました。

■学童リレー（男子）

1位 木場 2位 山田A 3位 大野町

■学童リレー（女子）

1位 大野町B 2位 大野町A 3位 木場

■年代別リレー（男子）

1位 木場 2位 小平方 3位 板井

■年代別リレー（女子）

1位 小平方 2位 木場 3位 大野町



学童リレー（男子）1位のメンバー

一口メモ

黒埼地区親善大運動会が第49回を数えて来年は第50回目ということです。今では黒埼地区連合自治会が主催しておりますが、昭和37年第1回目以降の草創期は公民館が主催して、各地域の公民館（分館）が得点を競っておりました。

大会の名称も「村民大運動会」でした。競技種目も「瓶つりリレー」「男子百歳リレー」「女子百歳リレー」とかで、種目は今とは多少ずつ違っておりました。実施時期もお盆後の8月に開催しておりました。

当時の黒埼地区は純農村地帯で、而も、青年団活動が活発な時代です。意気が揚がる若者で集落の対抗意識も強かった時代です。

経済の高度成長とともに都市化が進み、集落対抗の運動会から自治会対抗の運動会へと変わってきておりました。ただし、「親睦と融和」のスローガンは半世紀を経て不変です。

黒埼地区親善大運動会の益々の発展を期待したいものです。

親善登山活動、黒鳥公民館が計画

去る6月13日(日)、黒鳥公民館が角田山五カ峠登山道で登山活動を行いました。この活動は公民館活動の一環として昨年度から始めております。

昨年は、角田山、五頭山で足慣らし登山、そして富士山に挑戦するも天候の悪化と準備不足で3千760m地点で登頂を断念しました。今回は富士山の再登頂を目指しての角田山登山です。

当日は、天候に恵まれたものの農作業の繁忙期で参加者8人となりました。五カ峠登山道を目指して午前8時に黒鳥を出発、現地到着後、準備運動を行って9時から登り始めました。

好天に恵まれ日曜日、登山口から山頂まで

大勢の人たちであふれていました。無事登頂を済ませたメンバー全員、頂上で暫し休憩、昨年の富士登山の思い出話と森林浴を楽しみながら快適な春の気候を満喫しました。



2010.06.13